



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています

9月1日より新年度(21年度)が始まりました

今年度の基本方針は「連帯の力を養い、つながりの輪を広げる」です

平成21年度家庭倫理の会中野区 活動方針

1、300世帯の組織にする。

中野区の活動に参加してくれる方、賛助してくれる方を幅広く募る。新しい3支部、3支部長の下連帯感を強め「百人の一步」を踏み出すそして、継続性のある組織を作る。

2、実践力を高める。

実践を通して自分を良くし、家庭、職場を良くし、自身の存在が社会の為により一層なるようにする。

3、新世を普及する。

善行、利他行を積む意味でも多くの方に読むチャンスを作る。

4、活動をより一層充実させる。

充実してきた活動をマンネリにならず創意工夫で参加者が喜び活動にしていく。

辞令授与者・首都圏管区長
松枝秀雄 研究員



普及目標 300 世帯と
挨拶をする 栗山 会長



出発式 9月21日(日)9:30~10:30 中野サンプラザ F7.第8研修室 28名
辞令授与者 首都圏管区長 松枝秀雄 研究員を囲んで

決意発表をする
内倉あゆ子 子育て
支援委員長
伊倉功 支部長
桐山敬子 班長



式典終了後 20階レストランで、活?勝?カレーで
出発式を祝う



新年度・家庭倫理の会中野区 役員紹介

会 長	栗山敏昭	副事務長	清水みよ子	文化活動委員長	嘉山登美江
				しきなみ短歌チーフ	
推進長	清水新司	子育て支援 委員長	内倉あゆ子	シルバー委員長	町田のぶ
副推進長		地域交流委員長	飯田孝雄	倫理体験開発 委員長	池田八重子
広報委員長	安藤忠子				
事務長	村田 守	おはよう倫理塾 委員長	白川智久		

自分をよくする 家庭をよくする 地域をよくする 日本をよくする 地球をよくする 活動を推進しています

子育て応援セミナー第1回目終了 参加者18名(区報を見て2人)

9月16日(火)10:15~11:45、スマイル中野3F・AB会議室で子育て応援セミナーの1回目テーマ「いい子ってどんな子？」を開催した。

矢口寿女子生涯局講師が、皆さんとディスカッションをしながら子育ての勉強をしましょう、と打ち解けた雰囲気の中で、ご自分の体験談を交えて子どもと親の関わり方など話された。若いお母さん方は悩み、迷い、不安など打ち明け、矢口講師は一人一人にアドバイスされた。セミナーが終ると大変参考になりましたとお礼を言われ、さっそく次回の申し込みをして帰られる方もいて、好評の内終了した。・子育て支援委員長 内倉あゆ子

次回は10月21日(水)10:15~11:45 スマイル中野3F・AB会議室

テーマ：“子どもが言うことを聞かないときあなたならどうする？”



子どもにも問題が起きた時、親自身の心の中に何か不足不満の思いがあるのではと見つめる事も必要です。ねと話される：矢口講師



専門の方が託児を受け持てくれます



「なかのNPO・地域活動見本市」に参加

9月2日~4日中野区役所1階ロビーにて



敬老を祝って、元気に通っていらしゃいます。

平野むめさん



若かりし頃はおてんばだったのよ、と言うむめさんは、お元気で短歌会に書道に毎回出席です。大正元年生まれです

野澤礼子さん、



「誓いの言葉」は天下一品 大正5年生まれです

塚本久子さん



まだまだお役にたつ事がありそうで、毎朝通える事が喜びですと語る。戊辰生まれです

主席 鳥越等研究員最後の講話 8月10日(日)合同おはよう倫理塾



こうしようと思いついたのに三日坊主で、続けられない何故なのか・・・、ここにあるたった一本のチョークでさえ形の考案に始まり原料、製造、運搬、販売、黒板に置いてくれた人と、沢山の手が掛かっている、その事を思うと人にも物にも感謝の心が湧いてくる、若い頃の自分にはその思いが全くなかった、今は一番短いチョークから使うようにしていると、失敗談を語りながら“元点を忘れないように”と講話された。挫けそうになった時、元点を振り返ってみましょう、自分を客観視してみましょう。又相手の良いところを伝え合うとその場が楽しくなり、笑い声が自然に出るでしょう、境遇は心の通りに変わっていくのだから。素晴らしい家族と過ごせる事を喜び、感謝し、笑い声のたえない家庭を築く為に心を先行させて行きましょうと実技を交えて、楽しい雰囲気を醸しだしながら話された。参加者20名



新年度は九州・沖縄担当ですね。4年間ありがとうございました

「人の短所しか見えない人は、人間として成長が止まった人だ」と云いますね

「明朗の極意」・・・丸山敏秋「源流を汲む」P139より

純粋倫理を少しでも勉強したならば「明朗」がどれほど重要な実践であるかはご存知だと思います。しかし実際にはなかなか「明朗」になれないことも身にしみて感じておられるのではないのでしょうか。それもそのはず、心は暗い方向に傾くようになっているからです。なぜなら、人間は先の事がわかりません。今日なにが起きるのか、予想は出来ても確実に予知する事など出来ません。そのためにさまざまな心配や、不安や、恐れや憂いが生じて、心はすぐに闇へと引きずり込まれてしまいます。悲しい時、辛いとき、心配でたまらないとき、明るく朗らかなになる事が大切だと知っていながら、心を切り替えるのは本当に容易ではありません。「ほら、こういう時こそ明るく、朗らかなになるのよ！」と身近な人から励まされても、そうすぐに簡単には明るくならないものです。心を「明朗」へとギアチェンジするコツは何でしょうか。「明朗」とは太陽光線のように、内から外へと放散する心のはたらきにほかなりません。その方向転換をすべくギアを切り替える為に、先ず形(行動)から入っていくのが第一のコツ、もう一つのコツは、自分をじっと静かに横から眺める事、自分を劇中の俳優と大観し鳥瞰することです。(実践には大きく二つの種類がある事、形から入る実践と考え方の実践と・・・)

興味のある方は「源流を汲む」P139を